

議会報告

★平成22年度 当初予算成立

平成22年第1回定例会が3月31日に終了し、平成22年度当初予算が正式に成立しました。

①予算規模

区分	平成22年度	平成21年度	比較増減	増減率
一般会計	1,527億 3,100万円	1,475億 9,300万円	51億 3,800万円増	3.5%増
国民健康保険会計	480億 5,300万円	486億 8,500万円	6億 3,200万円減	1.3%減
老人保健会計	4,900万円	1億 4,500万円	9,600万円減	66.2%減
介護保険会計	215億 200万円	202億 9,400万円	12億 800万円増	6.0%増
後期高齢者医療会計	60億 9,600万円	59億 2,700万円	1億 6,900万円増	2.9%増
計	2,284億 3,100万円	2,226億 4,400万円	57億 8,700万円増	2.6%増

ること。そこで今年は、景気低迷による法人税の落ち込で都からの特別交付金が減額される中、区民サービスの質を落とさないで、子育てや高齢者福祉、環境対策や産業振興をどうやって図っていくか。また学校の耐震化はすべて終了しましたが、今後は予算のかかる公共施設の改築・改修をどのように進めていくか、など盛りだくさんの行政課題に、無駄なく満遍なく予算を配分することになりました。

②主な重点政策について

- 子育て・教育関連
 - ・私立保育園2園、分園1園を開設。公設民営保育所2園開設。
 - ・認証保育所開設及び運営費補助5園。
 - ・「江東きつずクラブ」区立小学校4校で開始。
 - ・小中一体型校舎の有明小・中学校の新設。
- 高齢者、障害者福祉関連
 - ・区内初の小規模多機能型居宅介護施設を亀戸、大島、海辺の3つの地域に整備。
 - ・高齢者と子どもが交流できる総合施設「グランチャ東雲」の整備。

- ・高齢者の生活を包括的に支える、6番目の地域包括支援センターの整備。
- ・重度障害者等在宅リハビリテーション支援モデル事業の実施。

- 産業・観光・まちづくり関連
 - ・中小企業支援のための借換資金の創設と景気対策資金の期間延長。
 - ・観光振興のための亀戸地区レトロ商店街と環境拠点の整備。
 - ・観光施策の全体像を把握するための「江東区観光振興プラン」の策定。

- ・「豊洲駅〜住吉駅」までの地下鉄延伸のための「地下鉄8・11号線建設基金」の設置。

- 環境・衛生・行革関連
 - ・緑化・温暖化対策のための「江東区みどり・温暖化対策基金」の設置。
 - ・全国初の発砲スチロールリサイクルモデル事業の実施。
 - ・産科・小児科・周産期医療を整備した豊洲地区の総合病院の整備（平成25年度開設）
 - ・「区報」「区議会だより」「選挙公報」の全戸配布の実施。
- 以上主な重点政策を列記しましたが、この他にも生活者の視点に

日々の活動

★平成22年第一回 区政報告会開催



2月17日（水）午後7時より、亀戸福祉会館で今年初めての区政報告会を行いました。主に報告の内容は、第1回定例会の内容で特に長期計画の向こう5年間の取り組みについて報告しました。定例会が始まる10日前で、区民の皆さんの貴重な意見を聞くことができ、予算審議の中でも大変参考になりました。

★視察報告

リニューアルした 寅さん記念館を視察

1月31日（日）、平成21年12月5日（土）リニューアルオープンした、葛飾柴又「寅さん記念館」を視察してきました。平成9年の開館以来、来館者は実に300万人を超え、大勢の寅さんファンが日本全国から訪れているそうです。江東区でも現在観光拠点として、香取大門通りの昭和レトロの再現と、銀行跡地の観光振興を中心としたテーマパークの整備を今年から来年にかけて計画するなかで、改めて葛飾柴又の大正ロマンを彷彿させるまちづくりを視察してきました。



▲ほどのようなものか。

- ②長期計画について
 - ・今回の収支見込みの数字は、どの程度の国の経済成長を見込んでいるか。
 - ・経済が成熟化される中、今後の財政計画は成長率0で計算したほうがいいのか。
 - ・今後10年の起債と基金のバランスをどのように考えているか。
 - ・向こう5年間の扶助率のアップが少ないのでは。
 - ・新たなアウトソーシングの考え方はどのようなものか。
 - ・その他、協働の視点、行財政改革、外郭団体の見直し。

- ③長期計画の中の重点プロジェクトについて
 - ・南部地域における総合病院の整備。
 - ・高齢者・障害者関連施設の整備。
 - ・豊洲に建設予定のシビックセンターの整備。
- それぞれの整備について、区民の目線に立った計画の重要性をどう考えているか

- ④教育改革アクションプラン21の改定について
 - ・新アクションプランの特色は何か。
 - ・第三者評価の在り方をどう考えているか。
 - ・就学前の教育の重要性と支援員の配置を考えているか。

立った公園整備や道路・河川整備、また本区の教育方針の要である「教育改革推進プラン」の策定し、新たな教育環境の充実など、区政が成すべき施策はたくさんあります。大切なことは、昨年3月に策定した基本構想の指針「みんなでつくる、伝統、未来、水彩都市江東」のように、これからの行政は、区民と一緒に、区民が納得のいく施策を一つ一つ実現することにあります。したがって、22年度には地区別の都市マスタープランを議論していきませんが、ぜひ各地域における活発なご提案をお待ちしております。

★22年度当初予算審議 総括質疑の概要

当初予算の審議の中で、私が民主クラブを代表して総括質疑を行いました。

- ①当初予算の予算編成方針について
 - ・向こう5年間の特別区税と特別交付金の見直しについて。
 - ・歳入確保のための新たな発想と何か。
 - ・今後の事業評価制度の見直しはどうするのか。
 - ・新たな外部評価制度の導入と▼

・小中学校における土曜日の授業の実施はどう考えているか。

以上大綱4点について質問しました。それぞれの回答については、書面の都合上記載できませんが、今後の区政運営において重要な点、特に庁内だけの議論で事業を進めるのではなく、十分な区民の意見を取り入れて推進すべきことを指摘しておきました。また報告会等でお知らせします。



区民の意見や要望等を伺うための「お寄せください」

また私が所属する厚生委員会では委員長として、特別委員会では防災・まちづくり対策特別委員会で活発な議論を展開しました。